



「記録、それはいつも儚い。
一つの記録は、一瞬のうちに破られる運命を自ら持っている。
それでも人々は、記録に挑む。限りない可能性とロマンスをいつも追い続ける。
それが人間なのである。
次の記録を作るのは、あなたかもしれない。」
（「びっくり日本新記録」より・・・裏面参照）

走・跳・投 ～より速くより高くより遠くへ～

10月18日、心地よい秋風のもと、市内6年生による「陸上記録会」が行われました。JITリサイクルスタジアム（小瀬陸上競技場）を会場に、市内11校の6年生約600名が一堂に会し、熱戦を繰り広げました。

運動会が終わってから本格的に練習を開始し、一人ひとりが自分の目指す「自己ベスト（目標）」に向かって直向きに練習する姿は、1学期とは違う、一回り大きく成長した姿に感じました。

記録会当日は、やや緊張した面持ちで会場に乗り込みましたが、各自が持てる最大限の力を発揮したと感じています。自己ベ

ストが出せれば最高なのでしょうが、それだけにとられず、陸上運動に精一杯取り組めたこと、北小の仲間と共に活動する時間がまた一つ増えたこと、陸上競技場という特別な場所で経験できたことなど、たくさんの収穫があったと思います。今年は保護者の方々の参観も叶い、また一つ大切な行事（経験）が実施できたことをとてもうれしく思います。





色づく秋

朝夕めっきり冷え込み、季節は晩秋を迎えました。毎朝の子どもたちの服装からも「冬」を感じさせることが多くなってきました。暦の上では、いよいよ11月、霜月しもつきに替わろうとしています。

「霜月」の由来は、文字通り霜が降り始める月のことです。甲府地方气象台は、昨日26日に、平年より13日早い初霜を観測したと発表しました。すでに富士山や甲斐駒ヶ岳でも平年より早い初冠雪を迎えており、確実に冬が近づいています。

霜月は、別名「神来月かみきづき（神帰月）」とも言われ、10月に^{かみきづき}出雲へお出かけになっていた神様が、各地へお戻りになる月であるという由来もあります。水無月(6月)や神無月(10月)など、暦の由来からは、先人がどれだけ自然や信仰を身近なものとして感じ、生活していたかがよくわかります。

いよいよ暖房器具が恋しい季節となってきました。同時に、体調を崩しがちな季節ともなります。新型コロナウイルスを含め、健康管理には充分ご留意ください。



やはたいぬ君来校



10月24日、保坂甲斐市長様と甲斐市マスコットキャラクター「やはたいぬ」君が来校してくださいました。(ホームページ掲載中)

甲斐市で力を入れている「国語力の向上」と「豊かな心の育成」(創甲斐教育)を目指した取組の一環として、今回、「あいさつ運動と字をおぼえようキャンペーン」で来校してくださいました。

保坂市長様からは、1年生で習う漢字がプリントされたハンカチを贈呈していただき、早速子どもたちは手に取ってまじまじと見つめていました。

また、やはたいぬ君が習字を披露してくれた時は、歓声が上がリ、みんな驚きを隠せませんでした。

市の方々の思いや、やはたいぬ君の頑張りを胸に、私たちも頑張っていきましょう。



<余談>…表面の一節

私が子どもの頃、「びっくり日本新記録」というスポーツバラエティ番組が行われていました。毎週日曜日の夜にテレビの前に座り、わくわくしながら観ていたことを記憶しています。その番組のエンディングに流れるナレーション(表面黄色字)が、心に染みる一節で、今聞いても懐かしさとともにセンチメンタルな気分になってしまいます。